

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス夢未来宝塚		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 10日		～ 令和7年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 10日		～ 令和7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和年 2月 4日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	業務前、業務終了後、問題点や、改善点等、気づいたことを、都度話していける時間があります。月1回のスタッフミーティングも行っています。	取り組みの追加で、再度、個別支援計画の内容、優先順位、確認していきます。
2	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っている。	毎回、今日は自分はここで何をしたいのか考えて、自分で計画を立ててもらい、行動することをしています。	予定表作成時だけでなく、自己決定出来る場面を、増やしていきます。
3	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われている。	職員間で情報共有し、統一すべき部分は統一の支援で、役割分担する部分はそのように対応しています。	目標とする部分は同じであるべきですが、アプローチは、職員それぞれであっていいと考えます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会がない。	同年代の児童が苦手であったり、家族からの要望もない為、地域の大人の交流どまりです。	児童の兄弟、スタッフの子供等の少少年上のボランティアから関わっていただけたらと思います。
2	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っていない。	開業1年目で、利用児童も少なかつたため、後回しになっていました。	ご家族からご依頼がありましたので、迅速に、検討していきたいと思っています。
3			